



SOHOTANK
ST2-TB
User Manual

このマニュアルについて

この度はSTARDOM製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当マニュアルは、STARDOM製品 SOHOTANK ST2 について説明をしております。お買い上げ製品をご利用頂く前に、本マニュアルをよくお読みください。本ユーザーマニュアルの記載内容は、出版前に十分にチェックを行っておりますが、実際の製品仕様はSTARDOMから出荷される製品を基本とします。製品仕様の更新や関連情報はwww.stardom.com.twに掲載されます。製品は予告なしに変更される場合がございます。STARDOM製品に関するご質問、最新の製品情報、ユーザーマニュアルやファームウェアのアップデートに関しては、現地の販売代理店にお尋ねになるか、www.stardom.com.twをご参照ください。

© RAIDON TECHNOLOGY, INC. 著作権関連の全ての権利を留保します。

目次

1. 動作環境
2. パッケージ内容物及びに製品外観
3. ハードウェア要件と注意事項
4. ハードウェアの取り付け
5. RAIDモードの設定方法について
6. 状態インジケータの説明
7. ハードドライブの交換について
8. よくあるお問い合わせについて

1. 動作環境

動作温度: 10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F)

保管可能温度: -20 ~ 47°C (-4 ~ 116 °F)

電源電圧: 100 ~ 240V AC

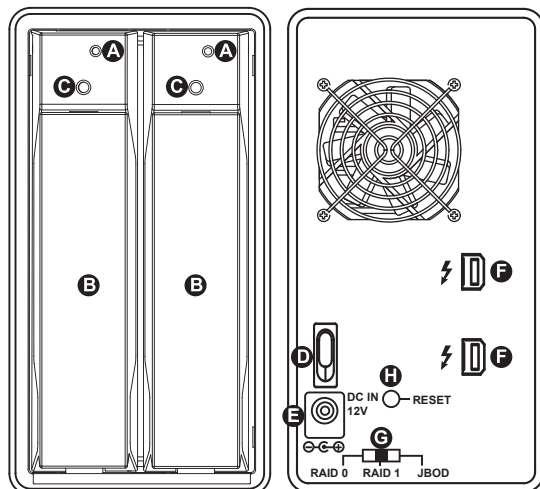
2. パッケージ内容物および製品外観

パッケージ内は以下の内容で構成されております。

ST2-TB
ST2-TB 本体 x1(リムーバルトレイ x2搭載済み)
Thunderbolt ケーブル x1
ACコードx1
アクセサリキット x2
英文マニュアルCD x1
ゴム足 x4
ACアダプタx1
英文クイックインストレーションガイド x1

本製品に付属のACコード・ACアダプタは本製品専用となります。他の電気機器ではご利用頂けませんのでご注意ください。

製品前面部・背面部



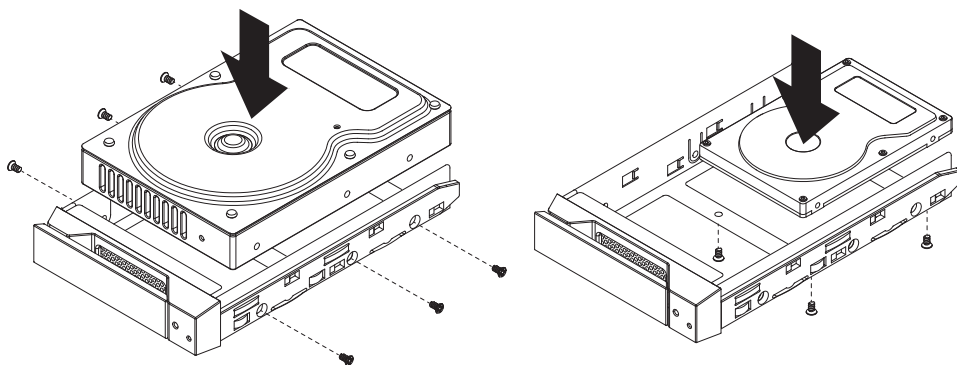
- A. HDD LEDインジケーター
- B. リムーバルトレイ
- C. キーロック穴
- D. 電源スイッチ
- E. ACコネクタ
- F. Thunderbolt ポート
- G. RAID 切り替えスイッチ
- H. リセットボタン

3. ハードウェア要件と注意事項

1. 本製品にハードディスクを搭載する際は、システムのエラーやデータ損失を防ぐため、不良セクタや故障がないことを事前にご確認ください。
2. 本製品をコンピュータから取り外す際は、必ずオペレーティングシステム上で「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから取り外してください。
3. 本製品を使用してRAIDを構築する場合、同じ規格、同じ容量のディスクを使用する事を強く推奨します。
4. ST2-TBで運用している重要なデータは、必要に応じてリモート又は別のストレージ装置等に定期的にバックアップを取ることを強くお勧めします。STARDOMは本製品の使用の際に生じたいかなるデータの損失およびに損失データの復旧に対して責任を負いかねます。

4. ハードウェアの取り付け

以下の手順に従って、ハードウェアの取り付けを完了してください



- Step 1 パッケージ開封後、内容物に損傷や欠品がないことをご確認後下さい。製品が損傷又は付属品が欠品をしている場合は、すぐに弊社代理店までご連絡下さい。
- Step 2 製品本体は平らな場所に設置し水気のある場所や製品の損傷を引き起こす可能性のある場所から離してご利用下さい。良好な通気を確保するためにも本体の通気口は塞がない様に設置して下さい。
- Step 3 アクセサリーキット付属のキーを挿入口に差し込み、リムーバルトレイのハンドルを引き、トレイを取り出します。
- Step 4 リムーバルトレイにハードディスクを取り付け、アクセサリーキット付属のネジで固定します。完了したら、ドライブトレイをドライブ位置に戻し、ハンドルを固定します。
- Step 5 HDDの搭載が完了しましたら、ACアダプタをコンセントに接続し、電源をONにしてThunderboltケーブルでコンピュータと接続をします。コンピュータの電源がONになると、ST2の電源が入ります。
- Step 6 次ページ「RAIDモードの設定方法について」へ進んで下さい。

5. RAID モードの設定方法について

- A. ST2-TBに新しくHDDを搭載する場合事前に2台のHDDをフォーマットしてから搭載する事をおすすめします。
- B. ST2-TBに既存のHDDを搭載し、RAIDモードを構築する場合は、事前にHDD内の重要なデータは全てバックアップをしてから作業をする事を強く推奨します。
- C. RAID-1 (
- RAID 1 認識容量は一台分となりますがデータの安全性を最優先にしたRAIDモードです。データ保護機能があります
- D. RAID-0: 高速・大容量ストレージが構築可能なパフォーマンスを重視したRAIDモードです。データ保護機能はありません。
- もしも異なる容量のHDDを搭載し、RAID0又はRAID1を設定した場合、ST2上で認識をされる
- 容量は、サイズの小さなHDDの容量が基準となります。
 - ** 例: もしも1TB と 2TB の容量のHDDを搭載した場合、RAID1の場合は合計容量が1TB、RAID0の場合は合計容量が2TBとして認識をされます。
- E. JBOD: 二つの独立したボリュームで認識します、データ保護機能はありません
- F. RAIDモードの切り替え方法について
- Step-1: ST2-TBの電源をONにし、コンピュータと接続します。
- Step-2: 背面部のRAIDスイッチをご利用になりたいモードに切り替えます。
- Step-3: アクセサリキット内のトレーキーパーツを使用し、背面のリセット (RESET) ボタンを押します。前面部HDD LEDが赤-青LEDの点滅表示から 青の点灯に変わるまで、数秒間待ちます。
- Step-4: ST2-TBの電源をオフにし、再度オンにします。これでRAIDモードの設定は完了です。OSのディスクユーティリティでフォーマットを行って下さい。

RAIDモード変更時の注意

RAIDモードを変更する場合、搭載された中のデータは全て消去されます。RAIDモードを変更する前に重要なデータ等は必ず事前にバックアップをしてから切り替えを実行して下さい。

6. 前面部LED HDD 状態

状態	HDD LED状態
Power ON 時 HDDが搭載されていない、又はHDDが故障	赤色点灯
Power ON時 両方のスロットにディスクが搭載 (アイドル状態)	青色点灯
RAID1リビルディング時 (構築元となるドライブ側)	青色点滅
RAID1リビルディング時 (構築されるドライブ側)	赤色点滅

7. ハードドライブの交換について

ST2ご使用の間に、故障したドライブの交換が必要となった場合、4.「ハードウェアの取り付け」をご参照ください。RAID1モードに設定をしている場合は、ドライブを交換後、コンピュータに接続された状態で暫く時間が経つとST2は自動的にデータ再構築を実行します。

再構築が始まると構築元となるドライブのHDD LEDがゆっくりと青色点滅、構築先となるドライブのHDD LEDゆっくりと赤色点滅になります。再構築が完了すると、両ドライブLEDが青点灯に変わります。

注意:

リビルド作業はコンピュータと接続時に行われます。又、リビルド作業中はST2にアクセスを行う事が可能ですが、パフォーマンスが低下をするため、お勧めできません。又、ST2 では、データ再構築および検証処理中の

シャットダウンが可能です。それでこれらの処理中に電源をオフにした場合、次回電源をオンにするとシステムは残りの処理を自動的に行います。いずれの場合も、ドライブ位置を交換しないでください。

8. 良くあるお問い合わせについて

1. ST2-TBはコンピュータと接続をされていない場合、及びにコンピュータ側の電源がオフの場合、スリープモードとなります。
2. コンピュータ側がスリープモードに入ると、ST2-TBもスリープモードになります。
3. 既に利用済みのHDDを本製品で使用する場合、もしも他のRAIDケース等で使用をした事のあるHDDの場合は、RAIDモードを構築する前に一度JBODモードで個別にHDDをフォーマット後、RAIDのモードを構築する事を強く推奨します。